

フェロモントラップ等調査結果(オオタバコガ)

○生態

- ・成虫は前翅長約15mm。
- ・前翅はやや緑色を帯びた灰黄褐色。不明瞭な横線や斑紋がある。
- ・5～6月頃に越冬蛹が羽化し、10月頃まで被害が認められる。春～6月はほとんど被害がない。
- ・年間2～3世代発生する(施設内では年間4～5世代)。

○被害を受ける作物

- 幼虫は広食性であり、多くの野菜、花を加害する。
- 広島県では、キャベツ、トマト、アスパラガス、なす、ピーマン、キク等で被害が見られる。



写真 粘着トラップに誘殺された雄成虫